

出演者紹介 (※敬称略)

記念講演「観光立国の推進と森林の可能性」



みぞはた ひろし
観光庁長官 **溝畑 宏**

昭和35年 8月 京都府生まれ
昭和60年 3月 東京大学法学部卒業
昭和60年 4月 自治省入省
昭和60年 7月 北海道庁地方課・財政課
昭和60年 5月 自治省財政局準公営企業室
平成元年 7月 自治省財政局公営企業第一課企画係長
平成2年 4月 大分県企画総室企画調整課主幹
平成3年 4月 大分県企画総室文化振興室長
平成5年 4月 大分県総務部財政課長
平成7年 5月 大分県企画総室参事兼文化振興課長
平成10年 4月 大分県企画部次長
平成11年 5月 自治省行政局行政体制整備室課長補佐・理事官
平成12年 4月 大分県企画文化部長参事、
2002年ワールドカップ組織委員会実行委員、
株式会社大分フットボールクラブ取締役ゼネラルマネージャー

平成14年 4月 大分県企画文化部長
平成16年 4月 大分県参事
8月 株式会社大分フットボールクラブ代表取締役
平成22年 1月 国土交通省観光庁長官

※受賞歴

平成14年 9月 2002年ワールドカップ日韓開催功労賞
(韓国サッカー協会より)
平成22年 11月 ベストドレッサー賞

※他役職

京都大学経営大学院 特命教授
Jリーグ 参与

パネルディスカッション (※順不同)



【コーディネーター】

かきざわ ひろあき

柿澤 宏昭

■北海道大学大学院 農学研究院教授
■森林・林業基本政策検討委員会 委員

1959年 神奈川県横浜生まれ
1982年 北海道大学農学部卒業
1984年 北海道大学大学院農学研究科修士課程修了
同農学部(現大学院農学研究院)助手
1993年 北海道大学農学部助教授
2006年 北海道大学大学院農学研究院教授
専門分野は、森林政策学、森林社会学。持続的森林管理を協働で支えるしくみをテーマに研究を行っている。欧米、ロシアなどの森林管理政策にも詳しい。

現在、北海道森林審議会会長を務めている。森林・林業再生プラン推進のために設置された森林・林業基本政策委員会の委員も務めた。

主な著書に、「森林のはたらきを評価する一市民による森づくりに向けて」(共編、北海道大学出版会)、「生物多様性保全と環境政策—先進国の政策と事例に学ぶ」(共編、北海道大学出版会)、「エコシステムマネジメント」(築地書館)などがある。



【パネリスト】

かきざわ こういち

貝澤 耕一

■NPO法人ナショナルトラスト・チコロナイ 代表
■平取アイヌ文化保存会 事務局長

1946年、北海道沙流郡平取町二風谷でアイヌ民族の一人として生まれる。

1997年二風谷裁判の原告として「アイヌ民族は先住民族」「文化享有権を無視した二風谷ダムは、違法」の判決を勝ち取る。

現在、十数か国の先住民族との交流を通じ先住民族の文化継承、権利、人権、自然保護等のあるべき姿を学ぶと共に目指している。

NPO法人ナショナルトラスト・チコロナイの代表として、誰でもが親しみ学べる北海道の本来の森づくりを目指している。

また、国立歴史民俗博物館リニューアル委員、室蘭工業大学客員教授、平取アイヌ文化保存会事務局長、アイヌ文化環境保全対策調査指導員等を務めている。



【パネリスト】

たきざわ しおり

瀧澤 紫織

■医療法人こぶし植苗病院
精神科医師
■日本森林保健学会 事務局長

岡山市出身。
1987年島根医科大学卒業後、岡山大学医学部精神神経医学教室に入局し、思春期外来に携わる。1994年より植苗病院に勤務。

1999年より、治療活動に森林環境を利用した野外活動を取り入れるようになる。

2004年静岡県天竜病院児童精神科に勤務し子供たちの「森林療法」に携わる。

2006年ドイツのクナイプ療法協会の主催する自然療法研修に参加し、自然環境を治療に生かした気候療法や保養医学を学ぶ。ドイツの「森の幼稚園(Waldkindergarten)」なども視察。

2009年からは鹿児島桜ヶ丘病院において、認知症の高齢者の「森林保健活動」の準備に関わり、2010年より実施。現在、植苗病院での地域精神医療に従事する傍ら、病院周囲の自然環境を利用した、心身の健康増進活動に取り組む。

また、2010年4月より日本森林保健学会事務局運営に携わっている。



【パネリスト】

けむりやま やすこ

煙山 泰子

■KEM工房 主宰
■木育ファミリー 代表

1955年札幌生まれ。
北海道教育大学特設美術科(木材工芸)卒業後、1979年にKEM工房を開設。木工デザイナーとして「子ども達とかがて子どもだった人への贈りもの」をテーマに、木と子供にこだわって活動。遊具や生活用品は北海道生まれのKEM製品として長く親しまれている。

図書館、幼稚園等のこどもスペースデザインのほか、2004年に木育推進プロジェクトに参画してからは木育体験プログラムの開発や木育授業など、積極的な木育活動に取り組んでいる。

現在:木育ファミリー代表、北海道森林づくり審議会委員、こども環境学会員



【パネリスト】

よしだ よしひろ

吉田 良弘

■株式会社コシダ 代表取締役
■北海道木材青壮年団体連合会
事務局長

昭和42年 上川郡剣淵町生まれ
平成2年 大東文化大学卒業
同 年 北洋銀行 入行
平成9年 同行退職
同 年 株式会社コシダ入社
平成17年 代表取締役就任
平成19年 北海道木材青壮年団体連合会 会長
平成23年 日本木材青壮年団体連合会 代行副会長
北海道木材青壮年団体連合会 事務局長
北海道森林審議会 委員
NPO法人北海道住宅の会、
木育ファミリー会員

北海道産エゾマツ・トドマツなどの間伐材を主な原料とし、土木、住宅用資材の製材、加工等を通じて、北海道の持続可能な資源の有効利用に貢献したい。



【パネリスト】

みき のぼる

三木 昇

■北ノ森自然伝習所 主宰
■北海道アウトドアガイド協会
理事長

1951年京都府生まれ。
江別市在住。

信州大学農学部林学科卒業後1974年より道内の林業会社で造林業に10年従事する。

退職後、北海道自然保護協会、野生生物情報センター、自然ウォッチングセンターにて自然環境調査に携わりながら自然を伝えることを仕事とし、1997年「北ノ森自然(じねん)伝習所」を設立。

北方の森を得意分野とし、自然ガイドとして道内の森を中心に自然案内や自然解説を行う一方、植生等の調査研究活動にも従事している。

また、自然観察や自然解説の指導者養成にも長く携わる。

現在、北海道アウトドアガイド協会の理事を務めている。